

## 【NEWS RELEASE】

2021年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

日本ピラー工業株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本ピラー工業株式会社（代表取締役社長：岩波 嘉信）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の日本ピラー工業株式会社に対する評価結果は、「環境マネジメント」、「環境配慮型の製品・サービスにおける取組」、「顧客に対する誠実さ」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 事業活動に伴う環境負荷として、CO2 排出量や取水量、廃棄物発生量等を把握し、数値目標を設定したうえで環境負荷削減に向けた取組を進めておられる点
- ② 省エネルギーや省資源化に資する環境配慮型製品を提供されている他、今後のさらなる開発促進に向けて、各技術部において環境配慮型製品の開発から上市までのロードマップを作成されている点
- ③ 独自の品質保証体制を確立し、顧客満足度調査等をもとに品質向上に向けて継続的に取り組まれている点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標 13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



半導体製造装置向け新型継手「スイープエルゴ」を上市。生産性の向上に寄与するとともに、配管抵抗を低減することで省エネルギーに貢献します。



プラスチックカップの廃止や、食堂利用者の注文傾向をデータ化し作りすぎによるフードロス削減に取り組んでいます。



新型コロナウイルス感染症対策強化のため、従業員やその家族、また協力会社を含め1,100人に対しワクチンの職域接種を実施しました。

<ご参考>

#### ※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

#### ※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。